

■ 計画地

東京都江東区辰巳二丁目2番



案内図



外観イメージ

■ 施設概要

構造：S造、一部SRC造・RC造

延べ面積：約77,000㎡（大会後：約46,600㎡）

階数：地上5階地下1階（大会後：地上3階地下1階）

座席数：約20,000席（大会後：約5,000席）

■ 後利用の方向性

「世界的な大会等が開催される国際水泳場として、
また、都民も利用できる水泳場として活用していく」



内観イメージ

※ パースは基本設計終了時点におけるイメージ（大会後）

より良い施設とするための視点

① 建物の長寿命化・環境への配慮

- 維持管理のしやすさ
- 周辺との調和

② 利便性の高い施設づくり

- 利用者アプローチの改善
- アクセシビリティの向上

③ 後利用における施設活用

- 大規模国際大会の開催対応

取組内容・方向性

- 排煙口設置位置の変更

＜大会時屋根高さアップ＞

- 気積縮小によるコスト低減

- 圧迫感及び日影による周辺への影響の低減

＜大会後屋根高さ低減＞

- 塩素や湿気による鉄骨への影響軽減

- 地震時における安全性の向上

＜メインプール膜天井の設置＞

- サブプール屋根を利用した3階アプローチを設置

- ・ 利用者の入退場及び非常時の避難安全性の向上
- ・ 3階の平場の有効利用（多目的な利用）
- ・ 公園との連続性確保

- 誰もが利用しやすい施設計画（観客席・トイレ）

- 外部通路における歩行者の安全性向上（斜め柱の改善）

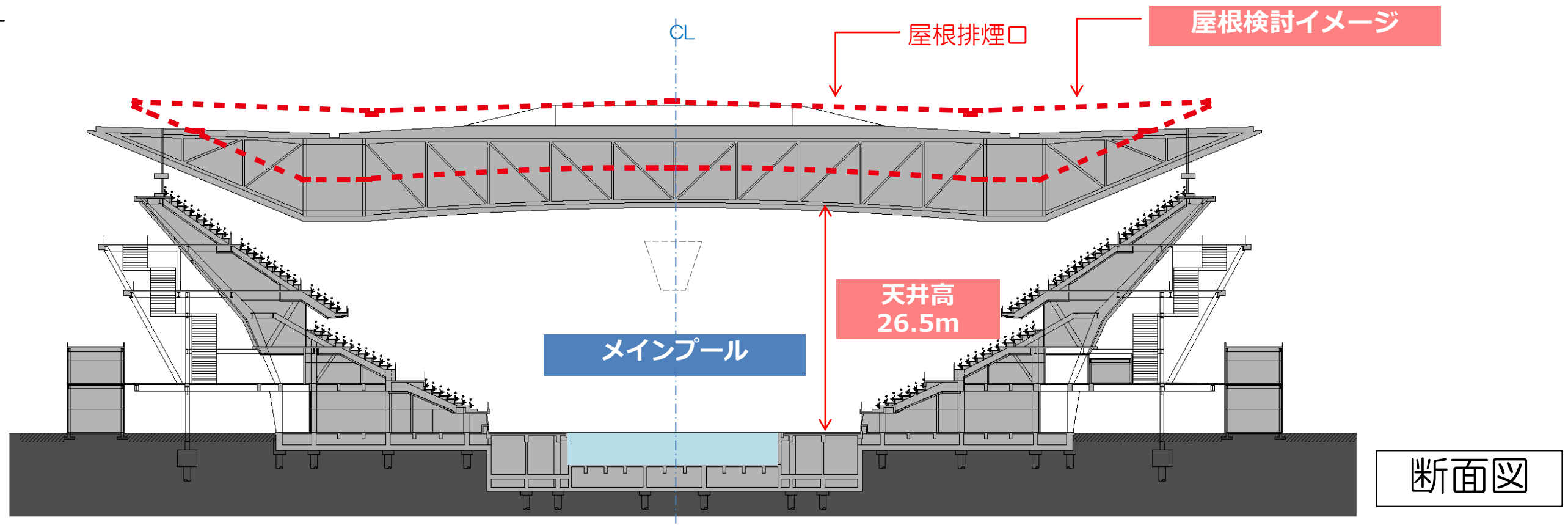
＜障害のある方や学識経験者等が参加する「アクセシビリティ・ワークショップ」の意見への対応を検討＞

- 将来的な仮設席等の増設に対応した建築計画

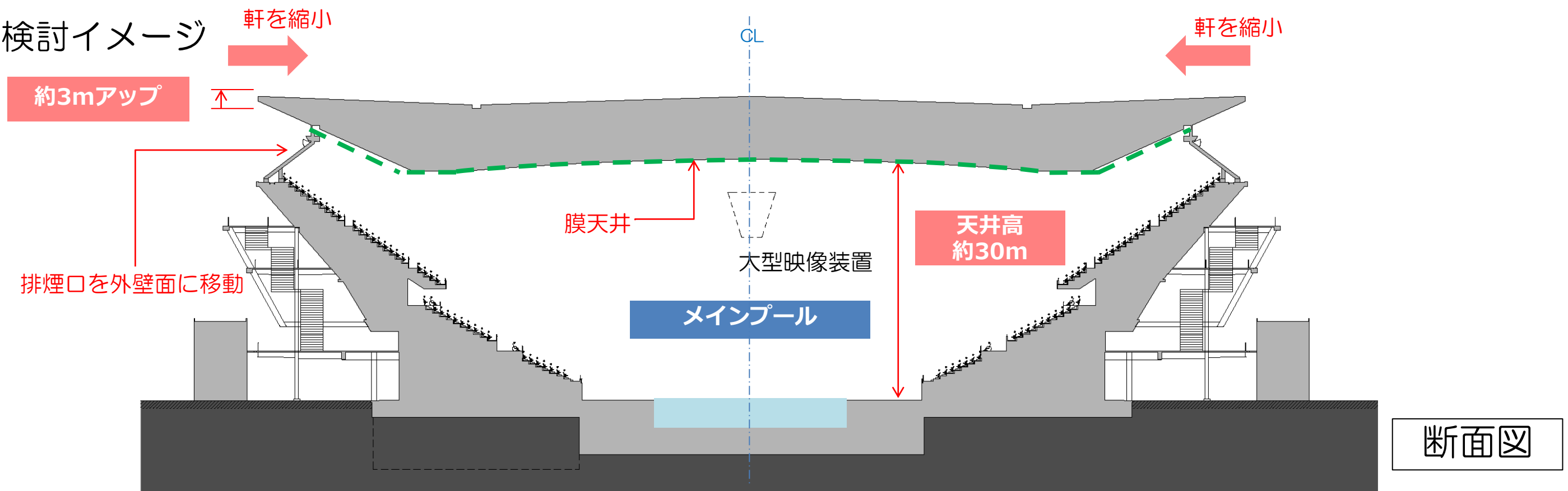
① 建物の長寿命化・環境への配慮 - 大会時の屋根高さアップ・膜天井設置 (案) -

大会時

基本設計



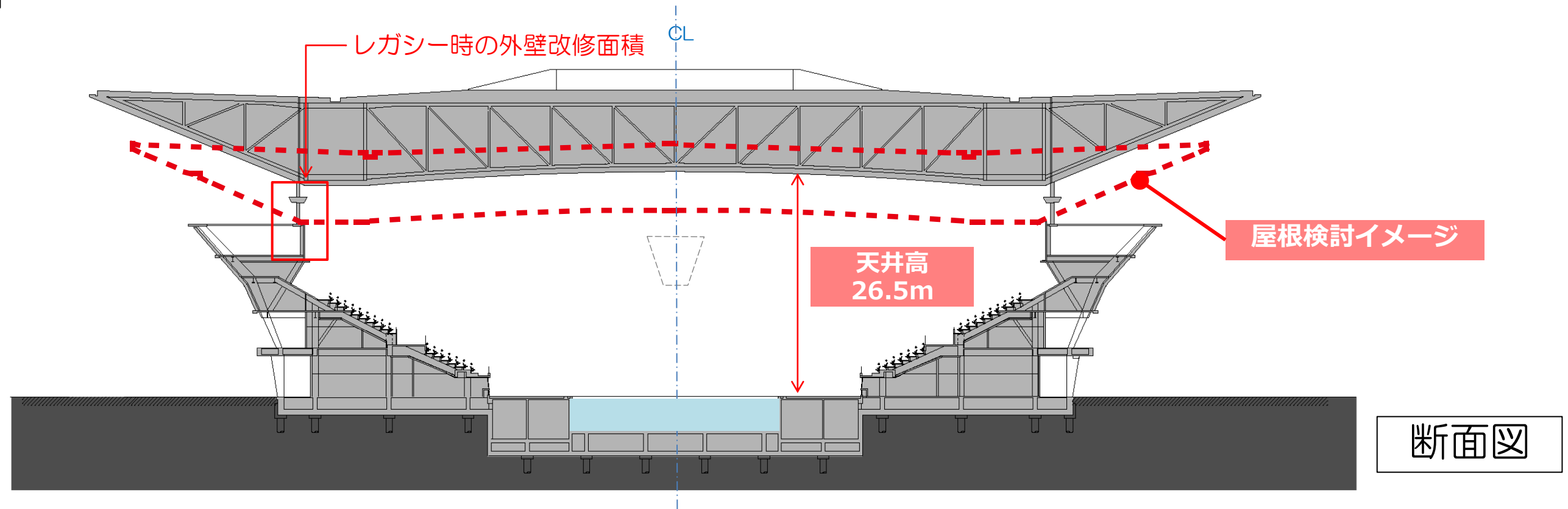
検討イメージ



① 建物の長寿命化・環境への配慮 - 大会後の屋根高さの低減・膜天井設置（案） -

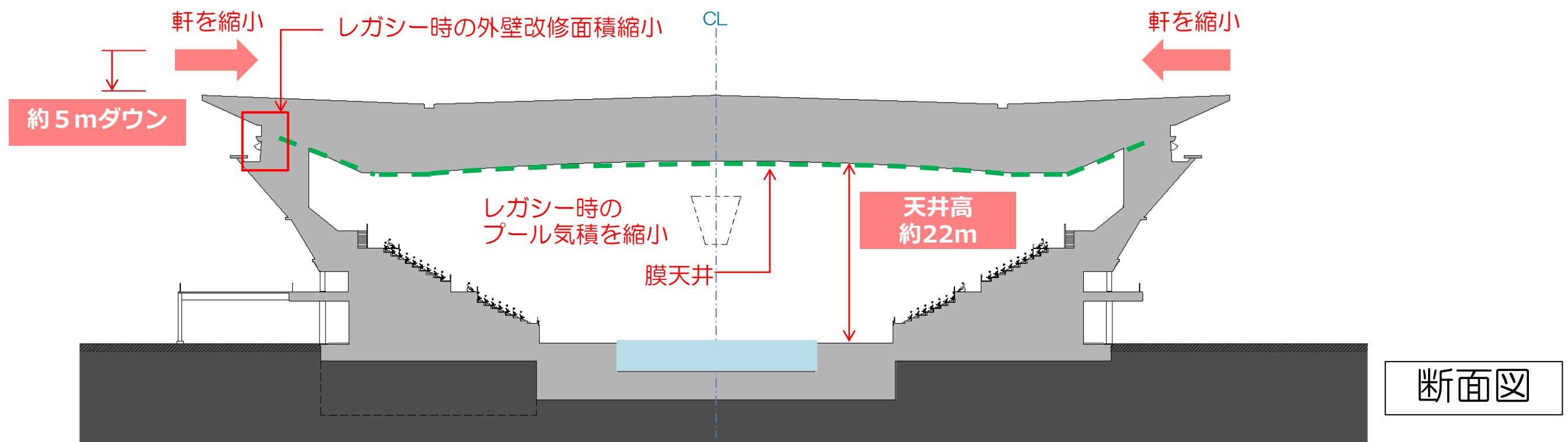
大会後

基本設計



検討イメージ

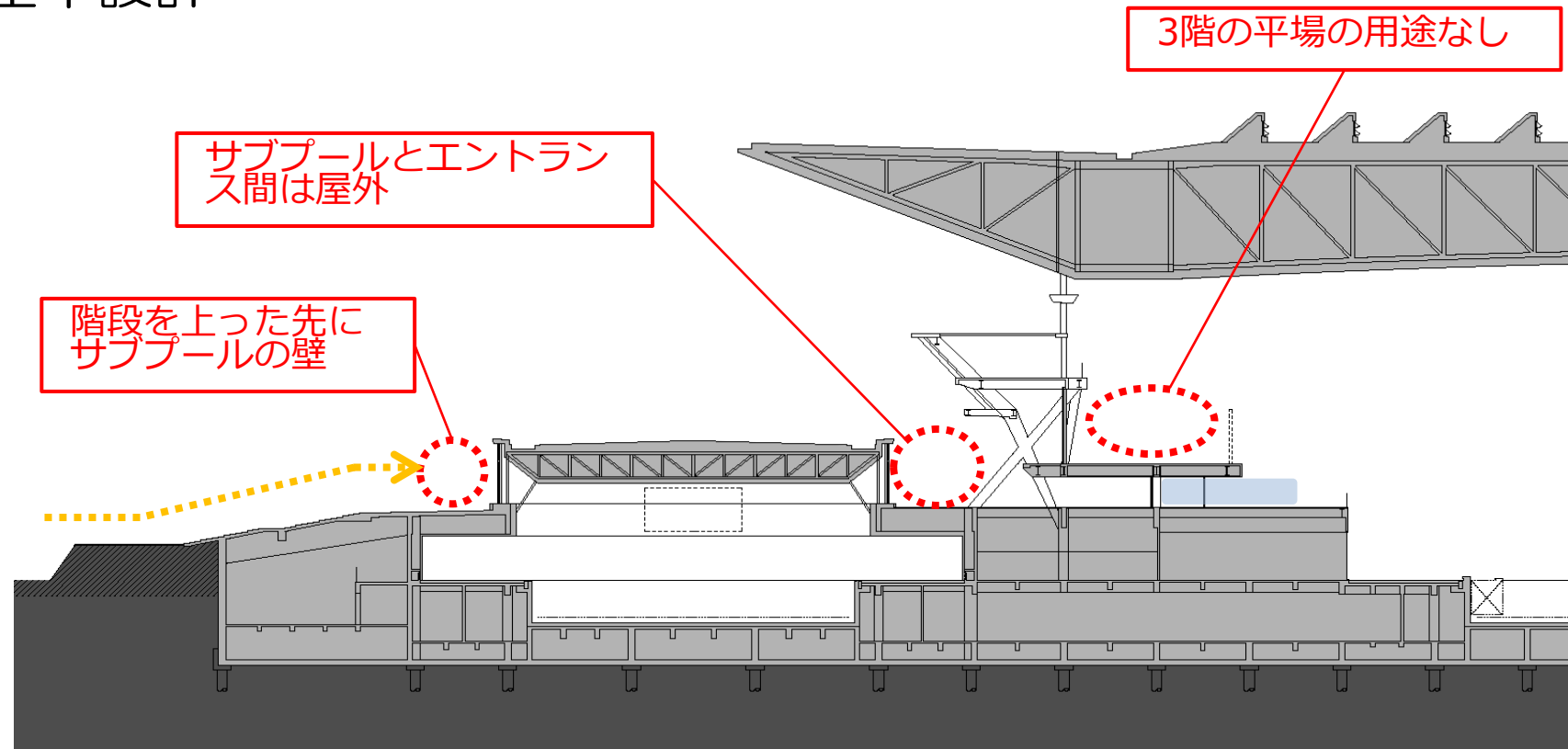
大会時から屋根を約8mリフトダウン



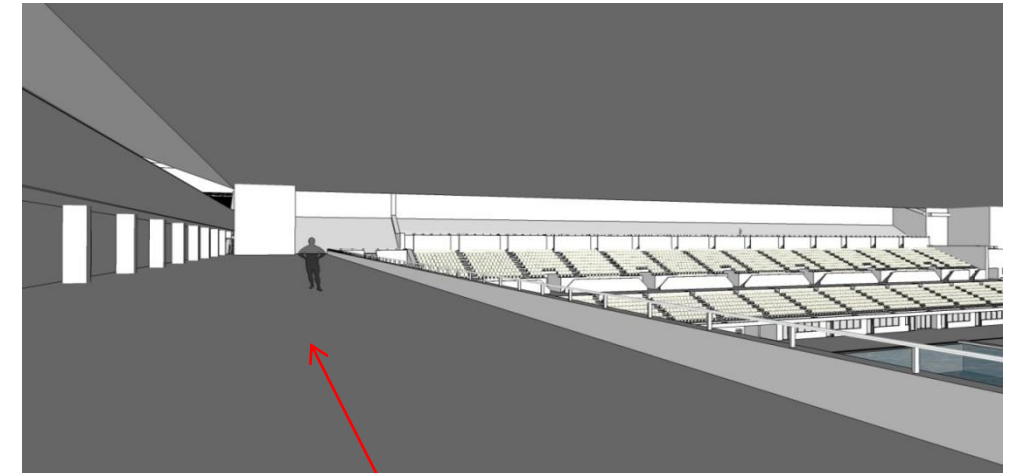
② 利便性の高い施設づくり - 利用者アプローチの改善（案） -

大会後

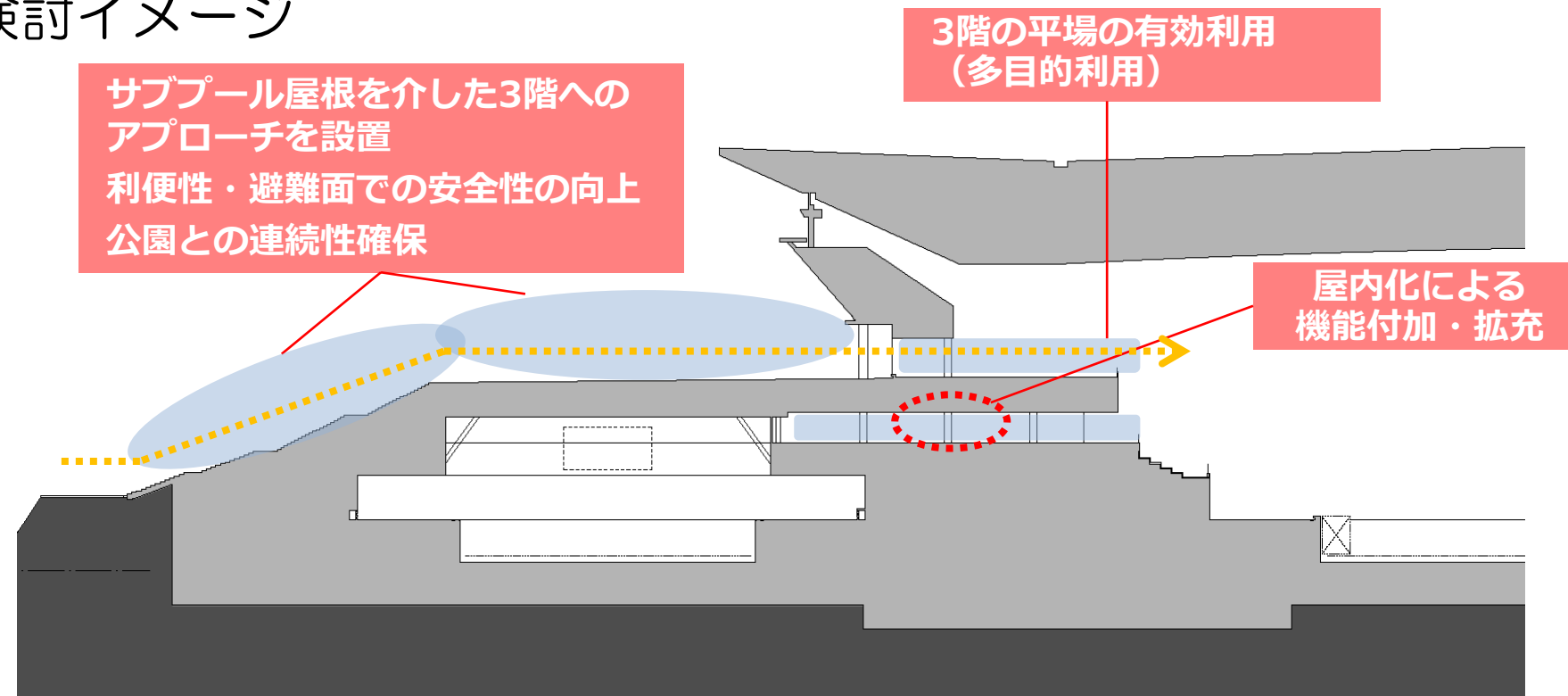
基本設計



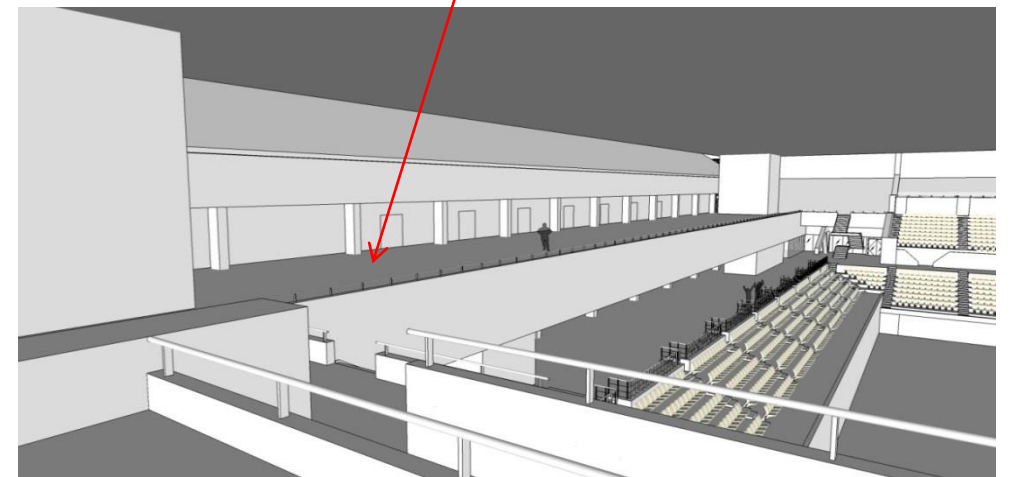
3階の平場の有効利用



検討イメージ

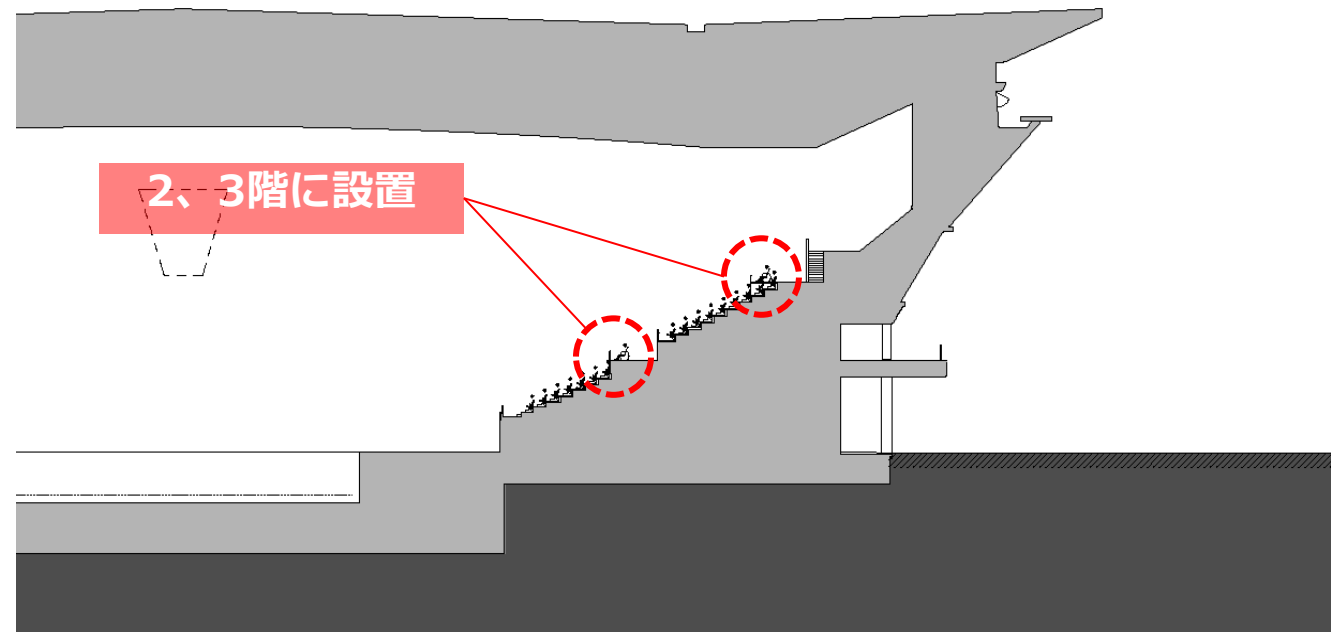


平場空間の確保

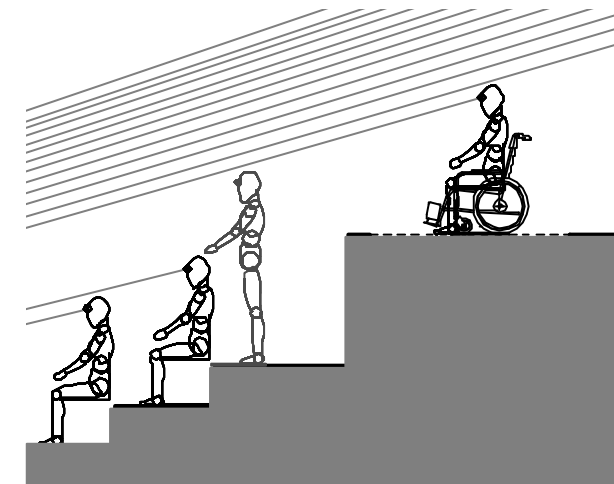


② 利便性の高い施設づくり - アクセシビリティの向上（案） -

車いす利用者席の分散配置・付加アメニティシートの設置

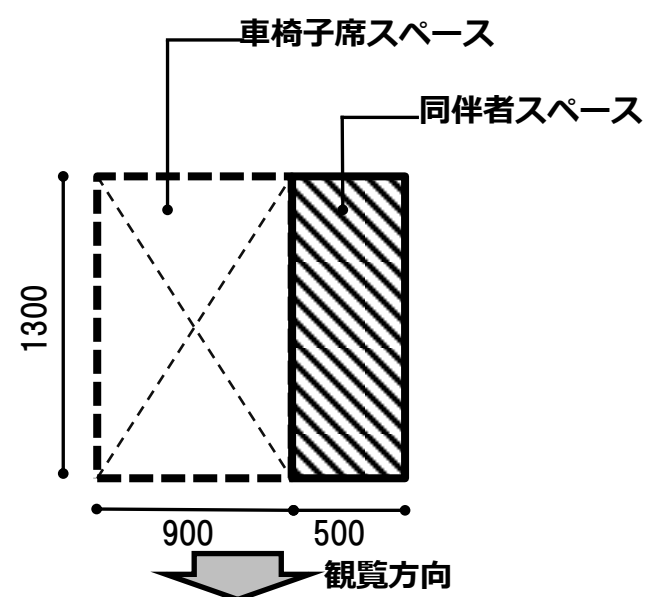


サイトラインの確保

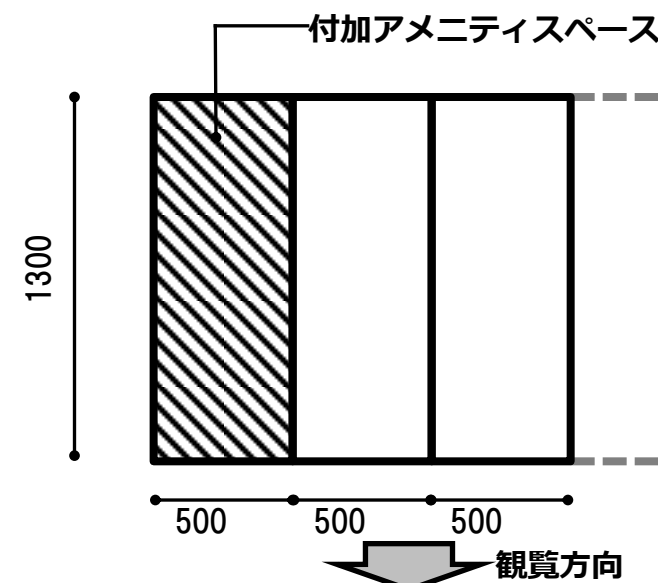


車いす席の前列の観客が立ち上がった場合でも、
車いす利用者のサイトラインを確保

車いす席スペースの確保



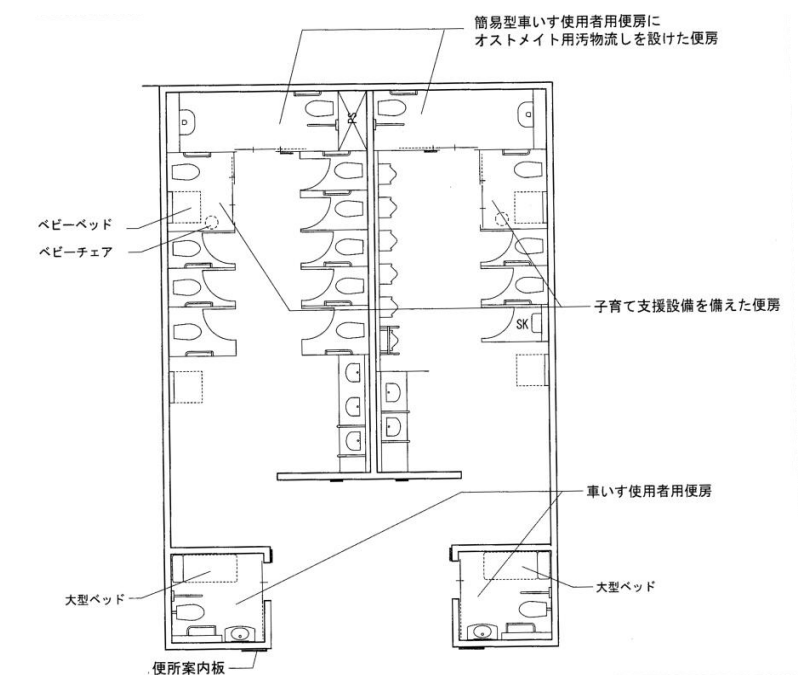
付加アメニティ席の確保（スペース）



500×1300

※ 座席を固定せずフレキシブルな利用が
可能なスペースの確保

トイレの機能分散（例）



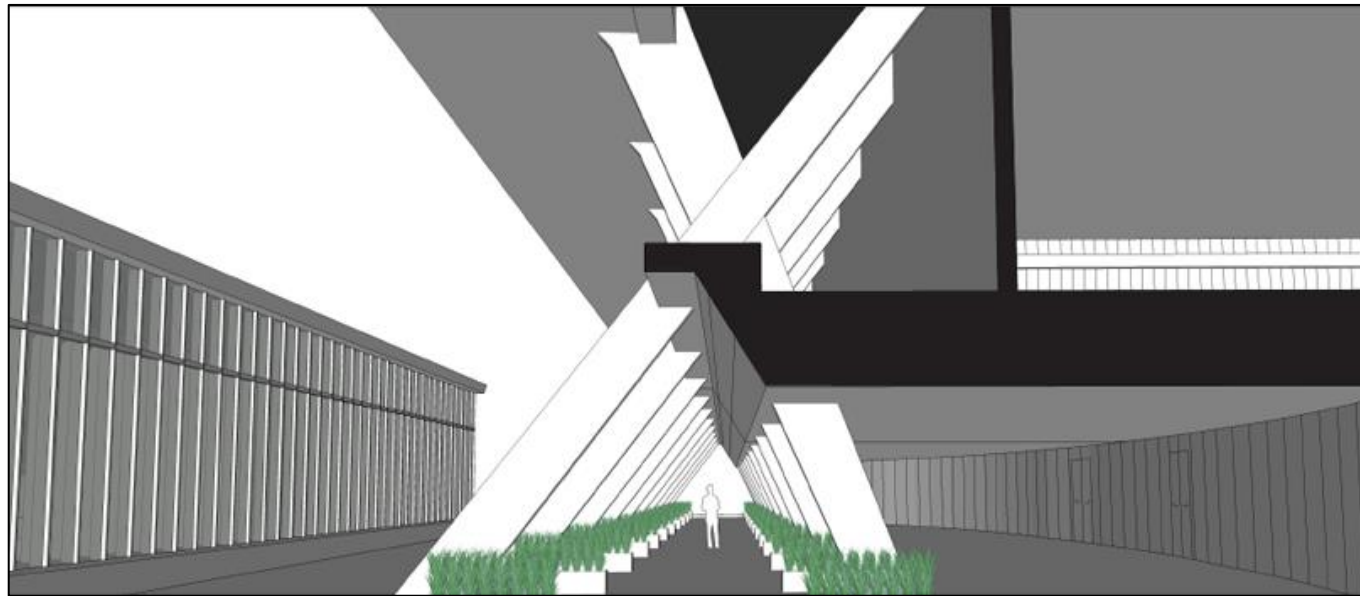
機能分散に配慮した便所の配置例

※ 東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアルより

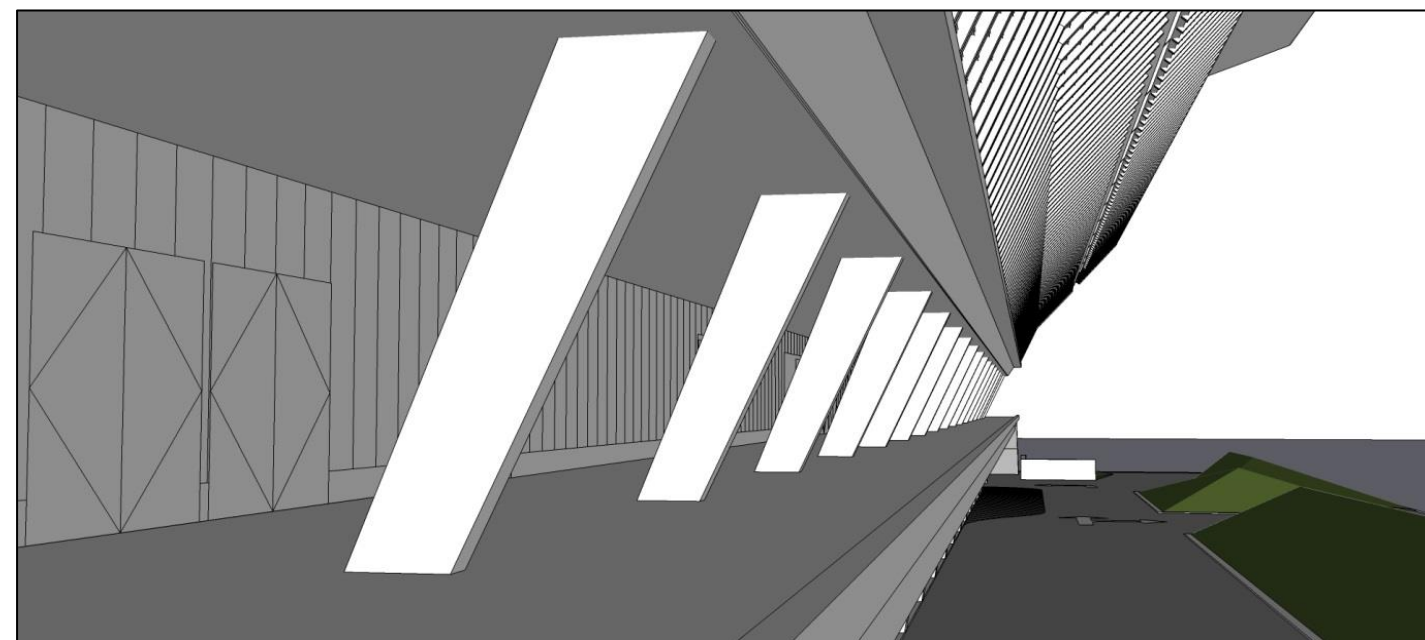
② 利便性の高い施設づくり - アクセシビリティの向上（案） -

歩行者の安全性向上（斜め柱の改善）大会後

基本設計

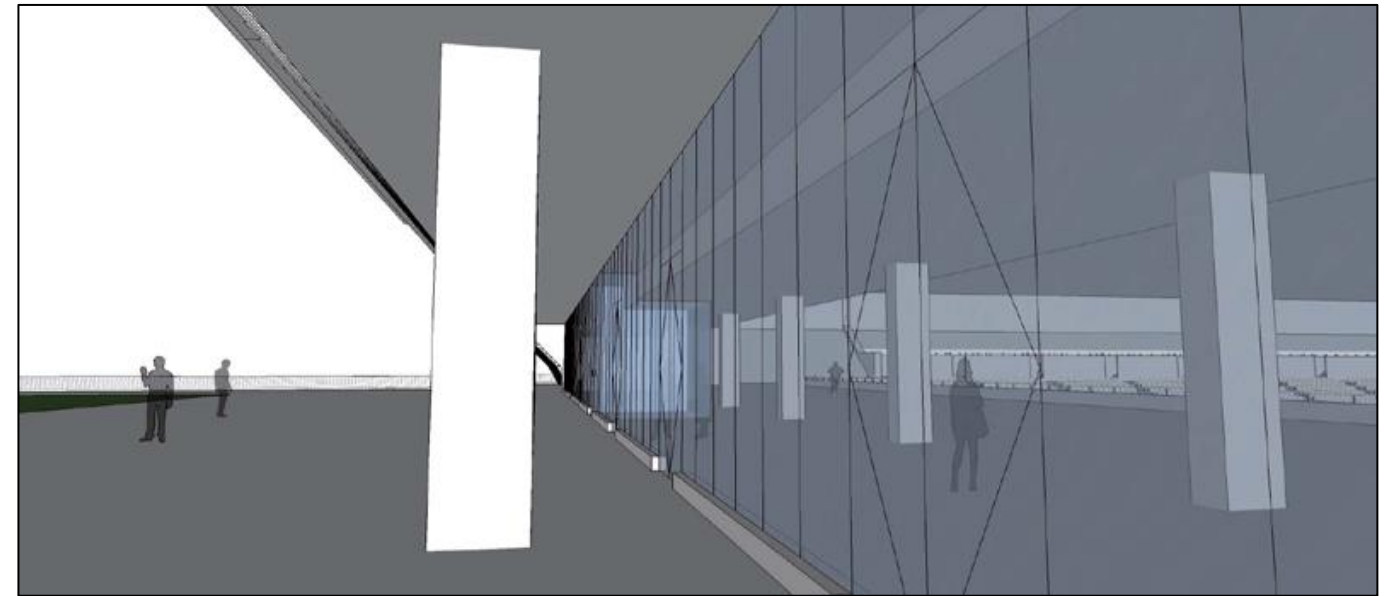


南側エントランス（2階）

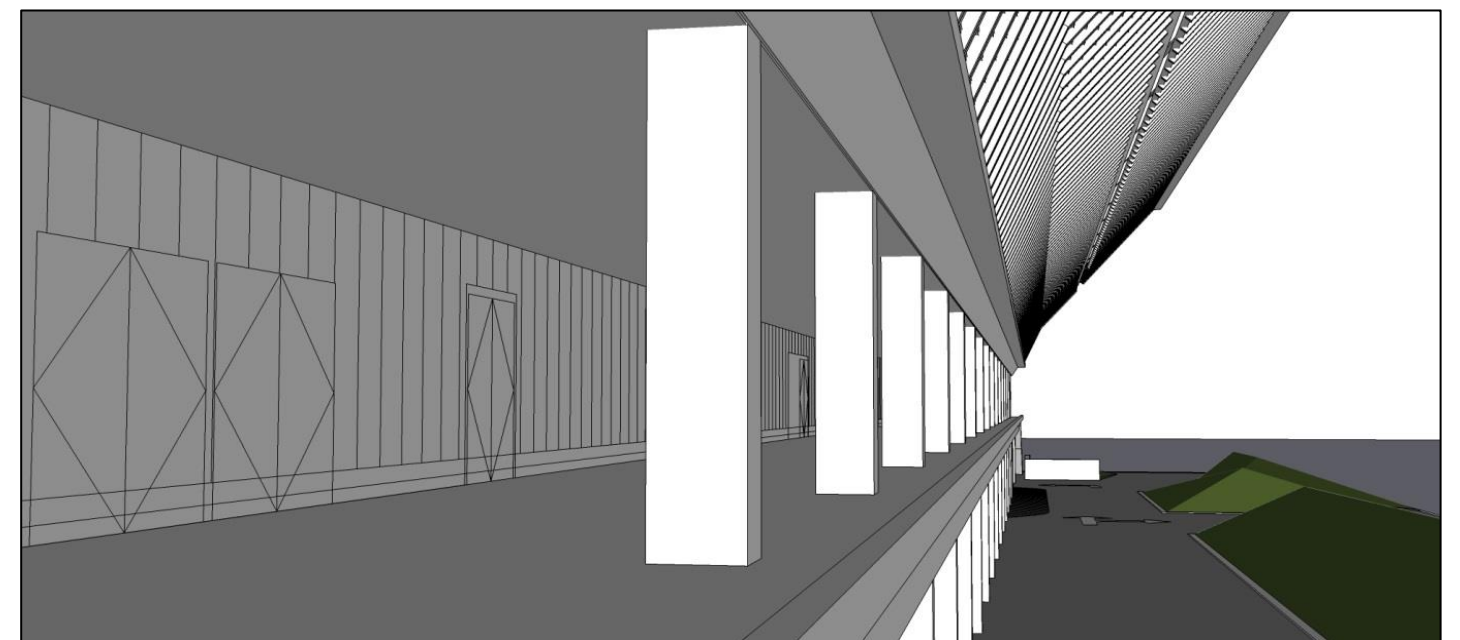


東西デッキ部パース

検討イメージ



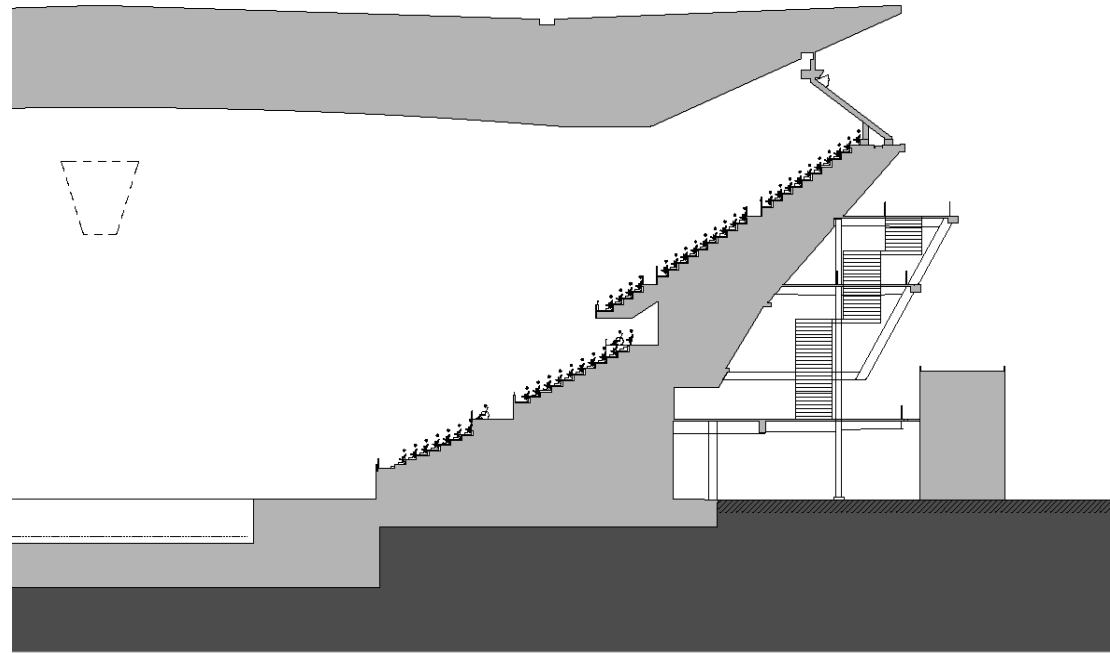
南側エントランス（3階）



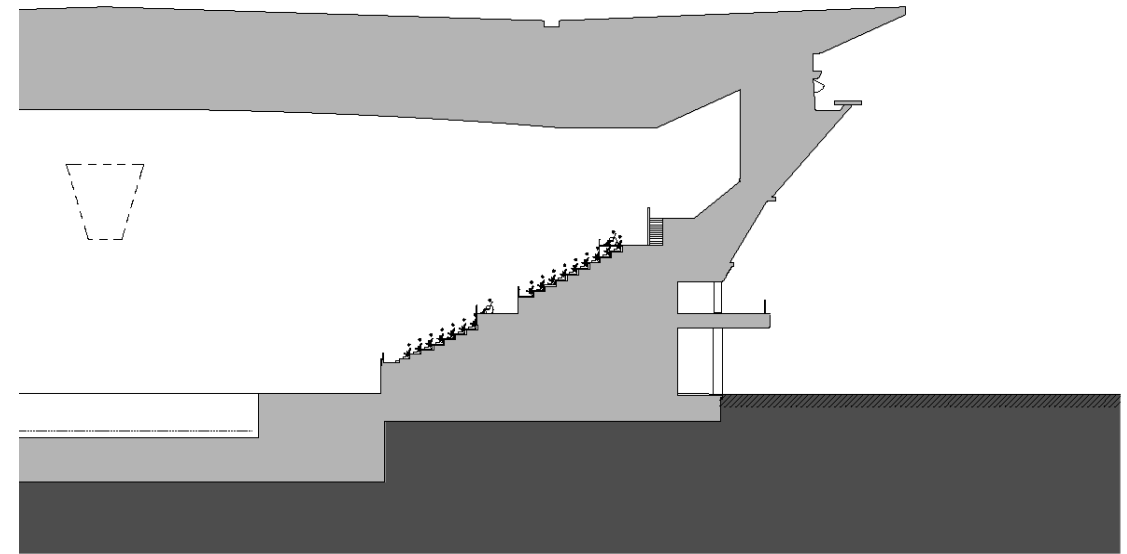
東西デッキ部パース

③ 後利用における施設活用 - 大規模国際大会の開催対応（案） -

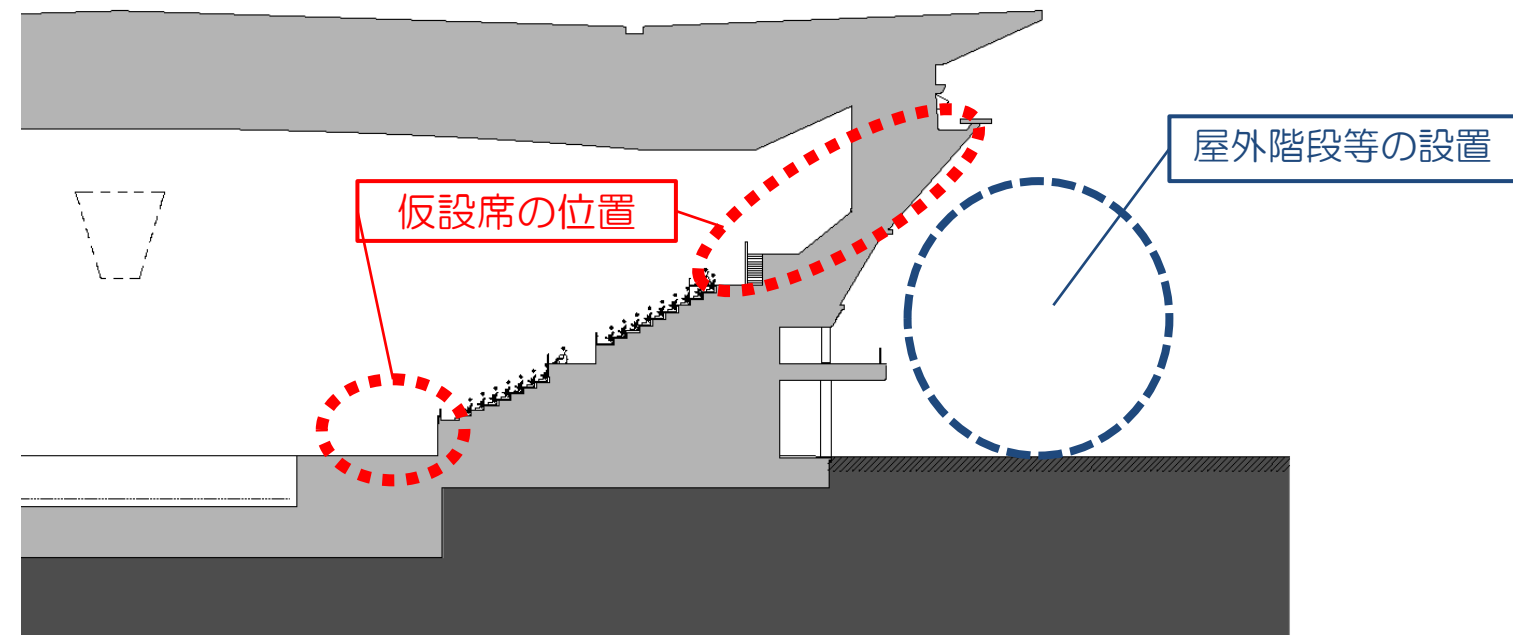
大会時（20,000席）



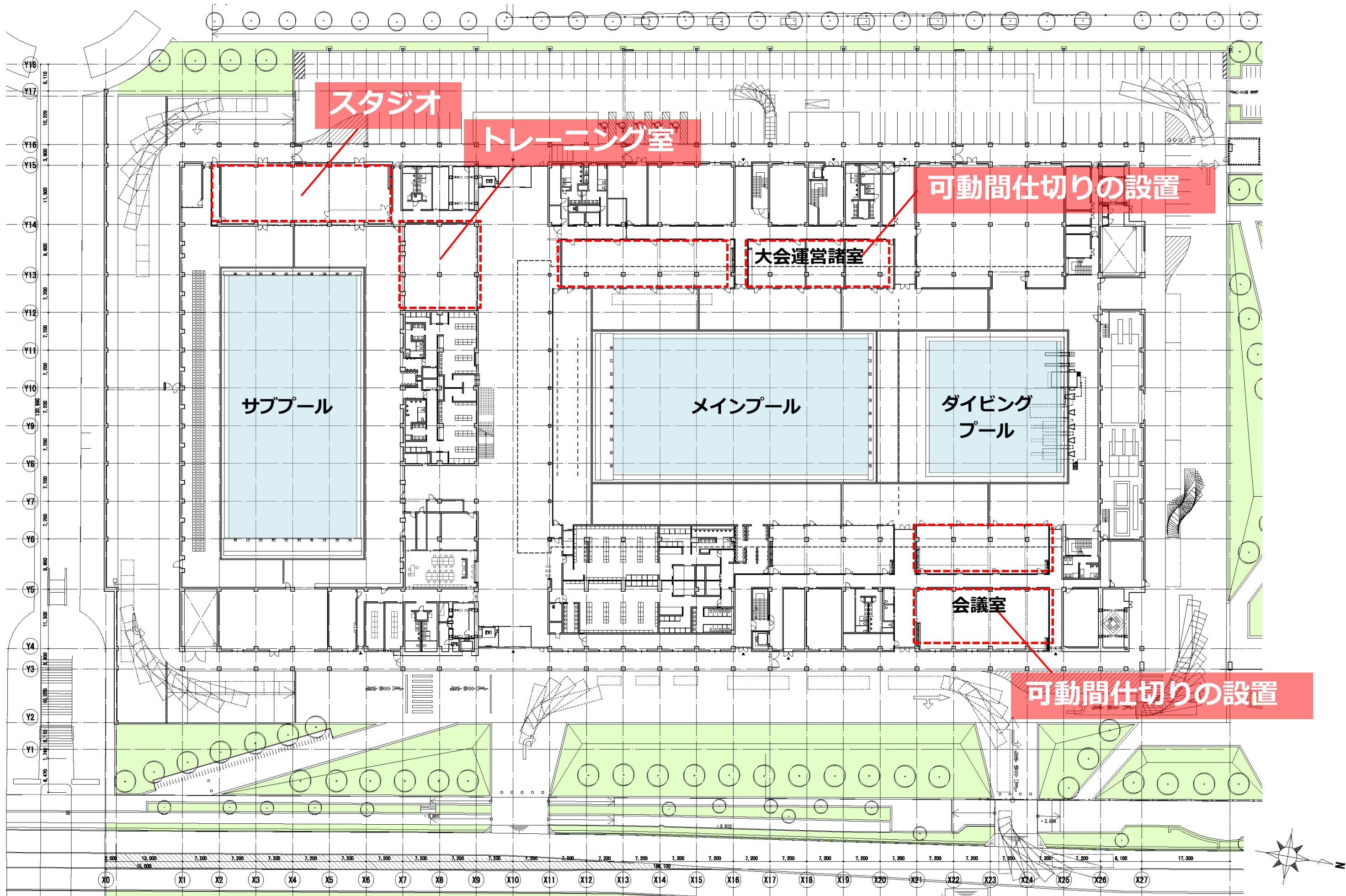
大会後（5,000席）



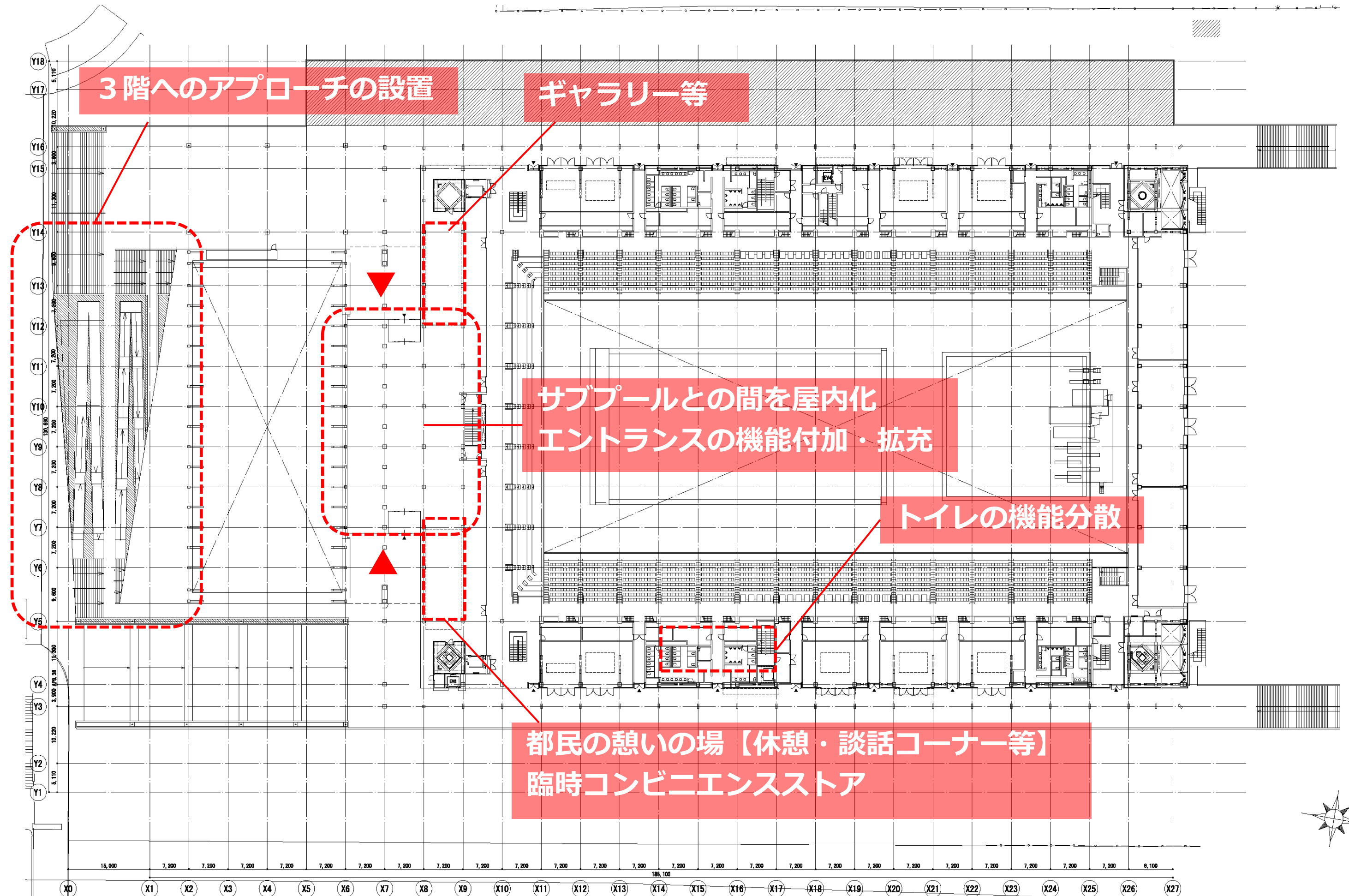
大会後の観客席増設イメージ



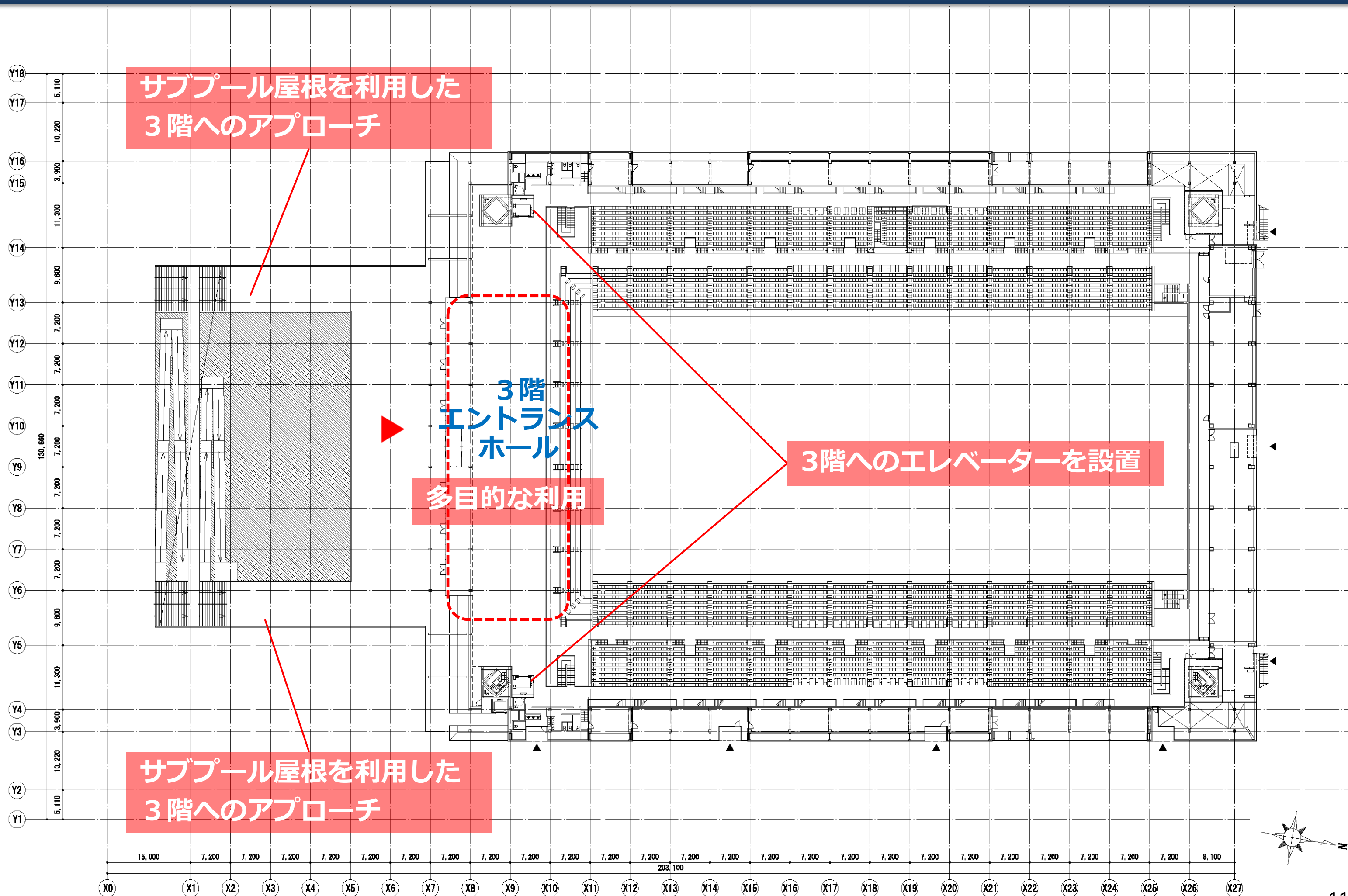
大会後 1階平面図（案）



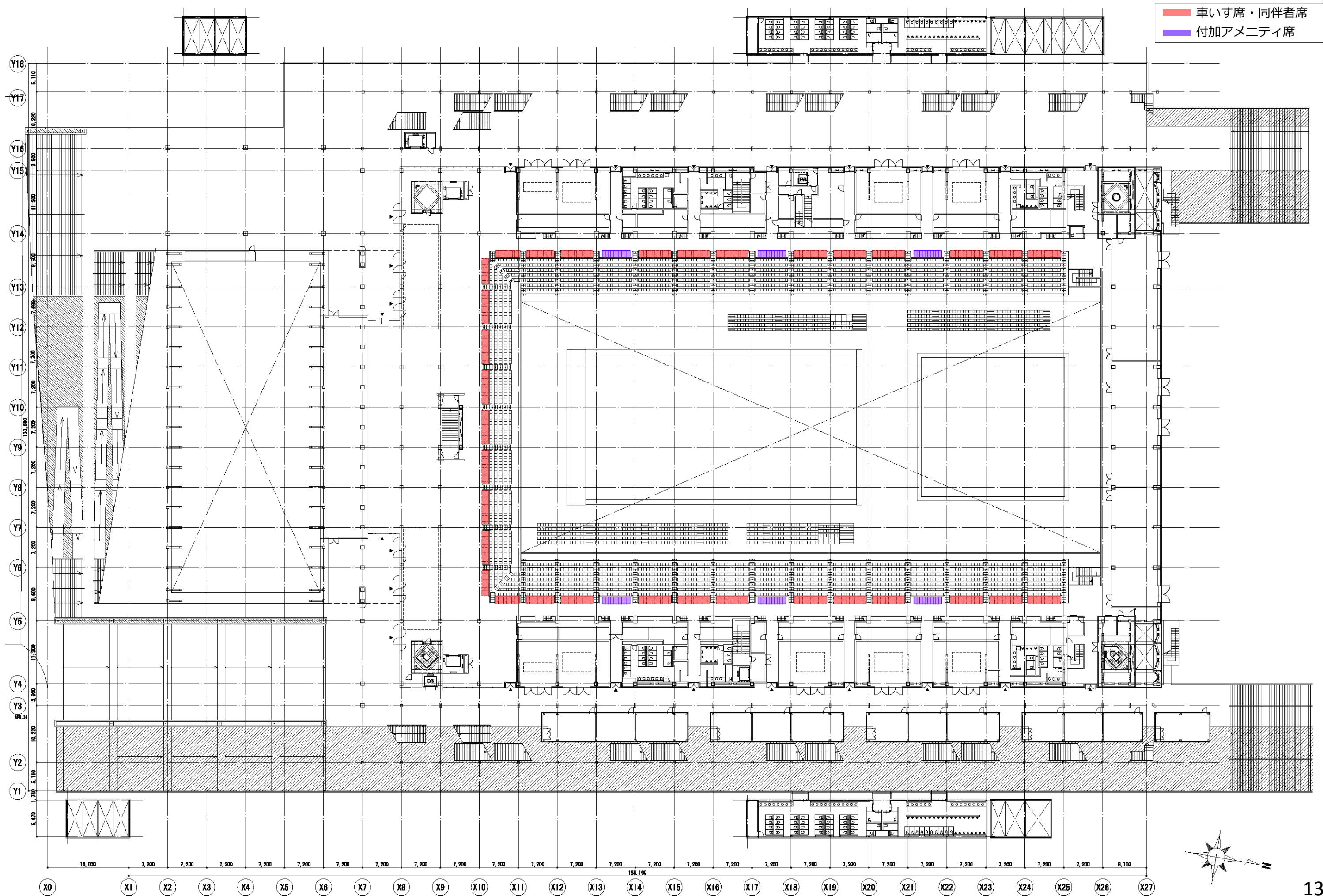
大会後 2階平面図（案）



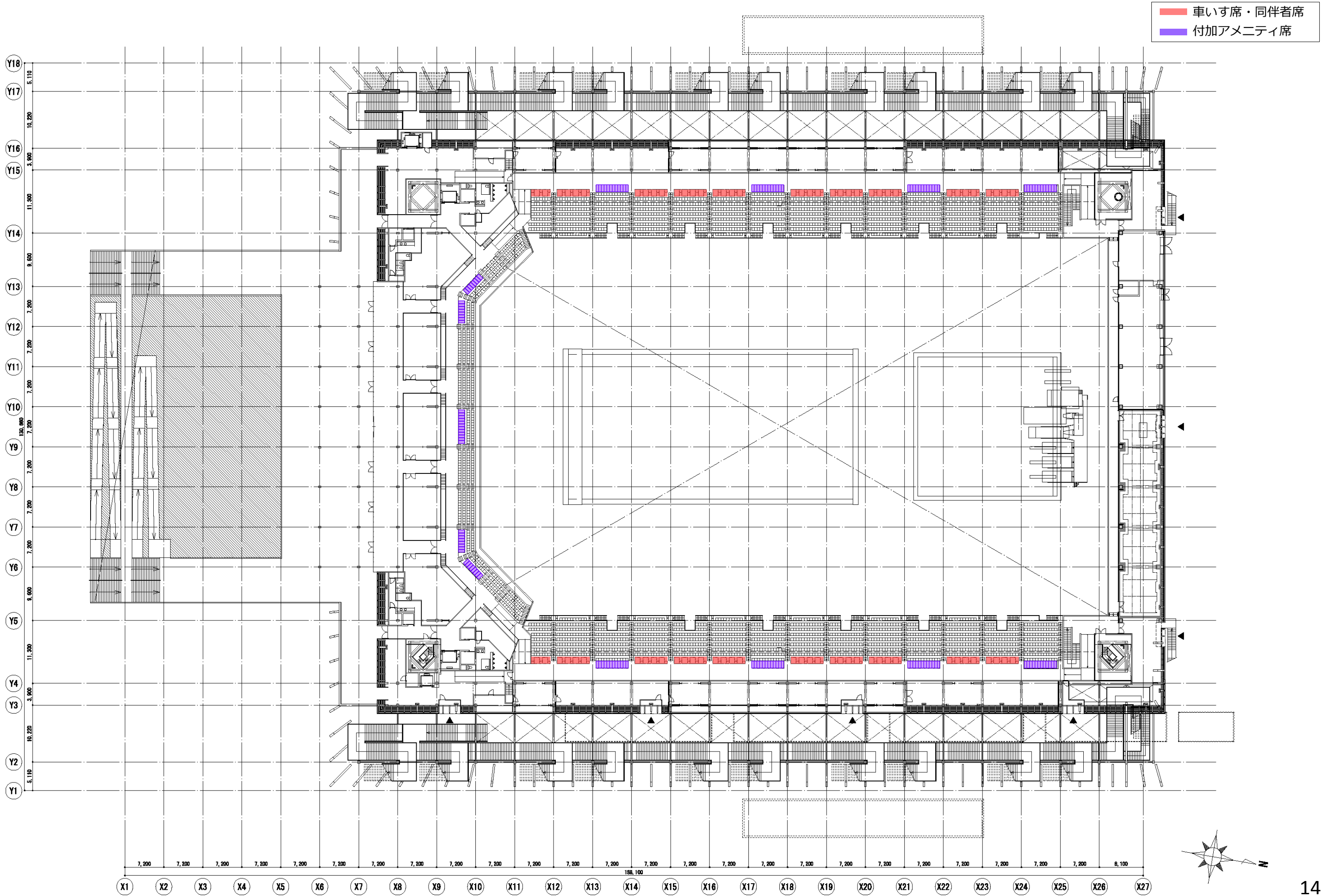
大会後 3階平面図 (案)



大会時（20,000席） 1-2階座席見下平面図（案）



3階座席見下平面図（案）



4-5階座席見下平面図（案）

